

令和6年度 学校運営協議会だより <第3号>

船橋市立船橋小学校 学校運営協議会

令和7年3月5日

第3回 船橋小学校学校運営協議会

第3回の学校運営協議会の概要は次の通りです。

日 時：令和7年2月28日（金）9：00～12：15	進行：教頭（事務局）
場 所：船橋小学校1階会議室 体育館	
参加者：村田 佐江子 様	青少年の環境を良くする市民の会事務局長
中島 博和 様	本町地区連合町会会長
森口 朗 様	中央教育文化研究所
武田 香織 様	父母と教師の会会長
渡邊 尚久	船橋小学校校長
オブサーバー：森 貴俊 様	船橋市教育委員会指導課課長補佐
次 第：1 会長挨拶	
2 校長挨拶	
3 日程説明等	
4 卒業を祝う会参観	9：20～11：00（体育館にて）
5 学校運営協議会（学校評価について・意見交換）	11：10～11：50（会議室にて）
6 給食試食	12：05～12：30

（1）本校の学校運営協議会を参観にいらしゃった船橋市教育委員会 森 様より

今年度、学校運営協議会委員を引き受けていただき感謝する。学校運営協議会は今までの学校評議委員会とは少し異なり、さらに学校との連携が密となり、学校への参画が必要である中で、ここまでご協力いただいたことに敬意を表する。引き続いてのご協力をお願いしたい。

（2）学校運営協議会（学校評価について・意見交換）

①卒業を祝う会参観でのご意見・ご感想紹介

【中央教育文化研究所 森口 様より】

校長先生も熱くなられる場面があったが、学校が一丸となって素晴らしい発表をしていて、非常に感動した。

【本町地区連合町会会長 中島 様より】

1年生から6年生までが一丸となって発表し、全校のみんなが楽しんでいた。バラエティに富んだ素晴らしい発表を見せてもらった。これからもこのような機会が続いてほしいと願う。

【父母と教師の会会長 武田 様より】

・保護者の目線と運営委員の目線両方から見させていただいた。どの学年の発表も非常にレベルが高いもので

あり、完璧な発表であった。

- ・ 6年生への思いをみんなが持っていたからこそ、このような素晴らしい発表になったのだと感じた。
- ・ 先生方のこれまでの指導に感謝したい。
- ・ 6年生が学校の中で良い手本になっているからこそ、どの学年の発表も素晴らしかったのだと思う。6年生の姿が他学年の成長に大きな影響を与えていることを再認識できた。

【青少年の環境を良くする市民の会事務局長 村田 様より】

- ・ みんなで6年生をお祝いしたいという気持ちが伝わってきた。
- ・ 1年生が元気でしっかりとしている印象。それぞれの学年の個性があふれた発表だったのは、先生方の指導が行き届いていたからだと感じた
- ・ 発表の中で話す場面が多くあったが、聞き取りづらい場面もあった。
- ・ 卒業を祝う会の発表から1年間の子どもの成長が見られたが、やはり卒業する6年生の成長が感じ取れる発表を披露していたのはさすがであると感じた。

【教頭から】

1～5年生の児童は6年生のために会を盛り上げたいという気持ち、6年生はそれに答え、会を楽しむという気持ちが一つになっていた。4組の発表では会場全体が盛り上がり、一体感が生まれた場面があった。学校が一丸となって作り上げた、非常によい会となっていた。

②学校運営協議会（学校評価について・意見交換）

【教頭から】

児童、教職員、保護者からのアンケートを集計した結果をもとにして、ご意見を頂戴したい。保護者のアンケートから多くの意見をいただいたが、学校に対して肯定的な意見が多いと感じた。ご指摘や改善を求めるものもあったが、肯定的な意見も改善を求める意見も真摯に受け止めたい。今後の対応を学校でしっかりと検討し、保護者や地域へフィードバックしていく方向で考えている。すべてのアンケート集計結果と意見があったものに対して学校からの回答を学校だより臨時号として今後、各家庭に発信していく。

児童のアンケートからは、「7. あなたが困ったときや悩んだときに、相談できる先生はいますか。」という質問の回答で否定的な意見に回答した児童が20%程いることがわかった。

教職員のアンケートからは、思考力・判断力を育成するための指導方法について、教職員の働き方への項目、黙働清掃への指導の点に関して、否定的な意見が多く挙がっていた。

【中央教育文化研究所 森口 様より】

- ・ アンケートの質問事項について例年通りではなく、年度に応じて改善していくと良い。
- ・ 学校、保護者、地域が一丸となって取り組んでいることは素晴らしいが、一丸となって取り組んでいるからこそ、いじめ等が要因となり、心身に傷を負ってしまった児童へのケア等、一丸となっているほど強いと感じる。
- ・ 児童アンケートの中に、「あなたは、いじめはどんなことがあっても絶対にしてはいけませんか」という質問にそう思わないと回答した児童が2%いるとある。この2%の児童をどう捉えて学校が対応していくが大切であると感じる。
- ・ 児童に質問するなら、「今までいじめられた経験はあるか」「今年度、あなたのクラスでいじめを見たことがあるか」という質問項目にすることで、より具体的な情報が手に入り、学校として対応しやすくなる。

- ・一丸となって様々なことに取り組める素晴らしい学校であるからこそ、いじめ対応については真摯に考え、向き合っていてほしいと願う。

【本町地区連合町会会長 中島 様より】

- ・運営委員の立場から、アンケートの集計結果だけを見て評価するのは難しい。すべての学校現場の様子を毎日見られているわけではないので、意見を伝えることはできない部分もある。
- ・自分の見た範囲内で述べるとすれば、教育目標等が校舎内に掲示してあるのが素晴らしい。黙働清掃をしようと掲示しているが、できていない場面も見られる。そこが学校としての課題ではと思う。

【父母と教師の会会長 武田 様より】

- ・子供たちが学校アンケートについて実施の趣旨や内容、回答の仕方を理解していないように感じる。とても大切なアンケートであることを子供たちへも伝えてから実施されると良い。
- ・児童からのアンケートからは肯定的な意見が多いと感じた反面、否定的な意見も一定数いることに驚いた。私たちの時代では否定的な回答をすることができなかった。
- ・相談できる先生がいないと回答した児童が多いことに衝撃を受けた。ここまで多くの先生方がいて、理解のある先生方が多いと感じていたが、それが子供たちにも保護者にも浸透していないのだと危機感を感じる。ここまで相談体制がしっかりとしている学校はないと考えているが、先生方や体制を知らない保護者が多いことが気になる。
- ・保護者にも子供たちにも、父母と教師の会として先生方のことや体制などを周知していきたい。学校としても担当の先生の教室の前に顔写真を貼って掲示するなど、周知を図るのはいかがでしょうか。

【校長より】

- ・子供たちも意外と担任以外の職員のことを知らないのであろう。今後、子供たちや保護者への周知を検討していく。
- ・スクールガードの紹介を校内に掲示して、子供たちや来校された保護者の方々に紹介する取り組みは行っていると考えている。それに併せて、スクールアシスタントやカウンセラーの紹介も検討したい。

【青少年の環境を良くする市民の会事務局長 村田 様より】

- ・否定的な回答が出てこないことは、問題視したほうが良い。
- ・保護者や子供たちの価値観は年々、変わってきている。特に保護者は学校の体制や子どもたちの実態等を勉強する機会を得ると良い。時代は大きく変わっているので、アップデートが日々必要である。
- ・学校だけがアンケートの結果を受けて対応していくのではなく、保護者へも周知し、保護者も子どもたちとのかかわりを改善、勉強していかなければいけない。子供の実態も年々変わっている。発達障害や自閉症への理解も今以上に必要な時代になっている。私たち運営委員もしっかり勉強していきたい。

【校長より】

- ・本校は、フィードバックをくださる保護者が多くいるが、肯定的な意見に甘えることなく、頂いた意見には真摯に向き合っていきたい。
- ・学校評価を3年間見ていると、保護者の方からストレートな意見をいただくことが少なく、学校への心遣いや配慮がある家庭が多いと地域だと感じている。そのことについては、学校だより3月号に詳しく書かせていただいた。
- ・保護者からいただいた意見の中で、休みの多い教職員がいて心配であるという意見があった。子育て職員が多く、私自身も積極的な休暇を促している。保護者には理解していただき部分もある。休みがあった場合は

しっかりと補教体制を組み、今後も対応していく。本校は職員も多く、補教体制がとりやすい学校である。今後も経営方針をはじめ、学校体制などについても保護者や地域に積極的に発信していきたい。

- ・保護者や地域と密に連携が取れることが本校の強みである。

【父母と教師の会会長 武田 様より】

- ・先生が出張や研修で不在となる場合は週プロでお知らせするのはどうか。

【中央教育文化研究所 森口 様より】

- ・教職員の休みの取り方と保護者の働く業態の休みの取り方にズレが生じる。みんなそれぞれが置かれている環境が違う。いただいた意見に真摯に向き合っていく姿勢が大切。
- ・先生の立場から発信するより、PTA の立場から発信したほうが誤解生じないこともある。先生方の休みや出張等で職員が不在となることは学校からの発信も大切だが、PTA からの発信も効果がある。

【青少年の環境を良くする市民の会事務局長 村田 様より】

- ・先生と保護者との関係からは言いづらいこともある。PTA と保護者の間で伝えると横のつながり同士だから伝わりやすいこともある。PTA からの発信は私も効果があると感じる。
- ・船橋市内でも地域によって、様々な異なる部分があることは否めない。その中でも船橋小学校は恵まれている。

【教頭より】

いただいた意見を参考にし、来年度の学校運営に必ず生かしていきたい。

今年度の学校運営協議会は、これにて終了となります。今年度も残りわずかとなりましたが、様々な場面で運営協議委員の方からご意見をいただく場面等を設定していきたいと考えております。